

ロシアに非難相次ぐ

戦術核配備巡り安保理会合

シカゴ＝島田峰隆国連安全保障理事会は3月31日、ロシアのアーチン大統領が隣国ベラルーシに戦術核兵器を配備すると発表し述べました。で危機感を表明。「NPTに加盟するすべての国が条約の義務と約束を厳格に実行しなければならない」と使は、ロシアが北大西洋条約機構(NATO)の核共有を口実と自分の行為を正当化していくことについて、「報復として核管理や核軍

ない」と強調しました。

中國の耿爽次席国連大使

は口にしたの発言には触れず、「核共有の廃止」と「自國領土外に配備されたあらゆる核兵器の撤去」を求めるました。

ロシアのネベンジヤ国連大使は「ロシアの安全を確保するために必要だ」と計

大使は「ロシアの安全を確保するために必要だ」と評

批判しました。

國連の中満事務総括担当上級代表（事務次長）は報告

条約の締約国として、ガボンのピアン国連大使は「核使用の威嚇はNPTと国際的な軍縮の目標に逆行する。ガボンは核兵器の使用も威嚇も決して支持しない」と強調しました。